

第5回 島根原子力発電所2号機の再稼働判断に係る知事・3市長会議

議事要旨

1. 日時

令和4年6月5日(日) 13:00 ~ 13:30

2. 場所

くにびきメッセ 国際会議場

3. 議事要旨

(1) 島根原発2号機に関する県の考え方について 資料 参考資料1 参考資料2

- ・島根原発2号機の再稼働判断に当たっては、住民説明会等での意見、関係自治体の意見、島根県議会の意見などを踏まえ、熟慮を重ねた結果、「島根原発2号機の再稼働は現状においてはやむを得ない」と考え、再稼働を容認する旨、知事から説明があった。
- ・県として、中国電力への事前了解及び国への回答の際に、必要な事項について、要請を行う旨、知事から説明があった。 資料

(2) 飯塚出雲市長から、以下のとおりコメントがあった。

- ・出雲市の考えを踏まえた判断であり、要請事項についても出雲市の意見をくみ取ったものであると理解している。
- ・将来にわたり中国電力との関係が続く中で、立地自治体と同様な安全協定の締結を引き続き求めていく考え。
- ・先月有効期限の書き換えを行った公的身分証明書を使用して、一時立入者が島根原子力発電所構内に立ち入る事案が発生したことから、中国電力には本事案を検証し、核物質防護に携わるすべての職員がその安全性、その重要性を認識し、島根原子力発電所の核物質防護に万全を期すことを求めたい。

(3) 田中安来市長から、以下のとおりコメントがあった。

- ・知事の判断については承知した。要請事項についても安来市の意見をくみ取ったものであると理解している。
- ・中国電力に対しては、特に、安全確保に関する最新の知見の反映や安全管理、確保に万全を期すこと。また、地域産業の発展に重要な安定かつ安価な電気の供給に努めるとともに、周辺地域の企業への工事発注や、宿泊施設の利用など周辺地域の経済発展に貢献することを強く要請いただきたい。

- ・国に対しては、原子炉設置変更許可など重要な変更が行われる場合に、周辺自治体の意見等を反映する新たな制度を構築すること。また、原子力発電を支える周辺自治体が行う地域振興の取組に対して、国の財政支援を拡充することを強く要請していただきたい。

(4) 石飛雲南市長からは以下のとおりコメントがあった。

- ・知事の判断については承知した。要請事項についても安来市の意見をくみ取ったものであると理解している。
- ・中国電力に対しては、安全確保を大前提に、再稼働までの各段階において、引き続き丁寧な情報提供を求めるとともに、安全対策については、設備面の対応だけでなく、人的な対応による安全文化の醸成に取り組むことを強く要請していただきたい。
- ・国に対しては、原子力災害対策への支援の充実を図るとともに、再生可能エネルギー等の技術開発導入促進などにより、できる限り早期に転換が図られるよう強く要請していただきたい。

(5) 丸山知事からは、3市の意見を受けて、以下のとおりコメントがあった。

- ・中国電力と国に対する回答に当たっては、3市の意見もしっかり伝えていく。
- ・中国電力の不適切入域については、先月（5月）22日に発電所を視察した際、中国電力の本部長、副本部長及び発電所長に対して、原因究明と再発の防止の徹底を求めたところ。
- ・また、重点要望の際に、原子力規制庁長官に対しまして、中国電力が今後講じる改善策については、法律に基づく原子力規制検査の中で規制当局としてしっかり確認するよう求め、長官からは、検査制度のもとで、事業者の保安活動等にゆるみが出ないように目を光らせていくとの回答があり、原子力規制庁による法律に基づく規制のもとで、再発防止策がとられることの確認がとれた。
- ・出雲市の意見を踏まえ、[資料](#)にある中国電力への要請事項の3番に「核物質防護に携わるすべての職員がその重要性を認識し、核物質防護に万全を期す」ということを加えて明記したい。 →飯塚市長から、「よろしくお願ひしたい」との発言あり
- ・安来市の意見にあった中国電力への要請については、[資料](#)にある中国電力への要請事項の8点目により、周辺地域を含めた地元企業、工事発注や宿泊施設の利用など、地域振興に特段の配慮することを求めていく。
- ・雲南市の意見にあった再生可能エネルギーの導入促進によって、この原発の依存度を下げるとは、[資料](#)にある経済産業省への要請事項の6点目で求めていく。
- ・今後の要請事項への対応状況、新たな事態への対応等については、この会議を適宜適切に開催し、3市の意見を十分に反映できるように、県としても努めていく。